

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2016年11月

高知県感染症情報センター  
 高知県衛生研究所  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第44週(10月31日～)から第47週(～11月27日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における11月の上位6疾患の合計は67.81で10月の45.45に比べて増加した。増加の主因は感染性胃腸炎の大幅な増加であるが、インフルエンザとマイコプラズマ肺炎の増加も見逃せない。1位は感染性胃腸炎で41.75と10月の16.74に比べて2.5倍に増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.00(10月3位6.30)と増加した。3位がマイコプラズマ肺炎で4.75(同4位5.63)、4位はRSウイルス感染症で4.65(同2位7.91)と減少した。5位に登場したのがインフルエンザで4.60(同10位1.31)と増加し例年に比べて早い流行期を迎えたようである。都道府県別の上位は沖縄県(36.04)、栃木県(15.77)、福井県(13.23)で、高知県は0.64であった。

2016年は8月から麻疹が流行し、話題となった。第34週～38週に102名の患者が報告されたが、10月の第39週～42週は17名で減少に転じ、11月は4名とさらに減少し、冬季に入り一時流行は終息しそうである。ただし、2016年の累計は155名(うち検査診断例が93例)となり、昨年を大きく上回っており、まだ油断できない。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	44週	45週	46週	47週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		6.41	9.37	13.12	12.85	41.75
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.70	1.99	2.22	2.09	8.00
3	マイコプラズマ肺炎		1.12	1.33	1.32	0.98	4.75
4	RSウイルス感染症		1.33	1.19	1.11	1.02	4.65
5	インフルエンザ		0.59	0.84	1.38	1.79	4.60
6	流行性耳下腺炎		1.05	1.07	0.96	0.98	4.06

## 県内情報

### 1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の11月の上位6疾患の合計は38.39と10月の36.12に比べ増加したが、全国よりも少なかった(表2)。増加の原因は上位2疾患すなわち感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加である。全国の値と比べると、咽頭結膜熱を除く5疾患はいずれも少ない報告数だった。

1位は感染性胃腸炎で、19.80と10月の13.99と比べ増加したが全国よりも少なかった。県下の臨床検体からNorovirusとSapovirusが各5件同定されており、とりわけ強い感染力をもち、感染予防策を講じることが難しいNorovirusの流行期に入ったと思われ注意が必要である。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で4.87(10月5位3.59)と増加した。3位はマイコプラズマ肺炎で4.26(同3位4.88)と減少し、4位はRSウイルス感染症で3.56(10月2位6.10)と減少に転じた。5位が咽頭結膜熱で3.24(同4位4.26)、6位は流行性耳下腺炎で2.66(同6位3.30)と減少した。

全国で流行の到来が告げられたインフルエンザは、本県では12位0.64でまだ本格的な流行には至っていない。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	44週	45週	46週	47週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		4.50	6.13	4.40	4.77	19.80
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.27	1.00	0.90	1.70	4.87
3	マイコプラズマ肺炎		0.50	1.25	1.38	1.13	4.26
4	RSウイルス感染症		0.93	1.03	0.90	0.70	3.56
5	咽 頭 結 膜 熱		1.10	0.37	0.77	1.00	3.24
6	流 行 性 耳 下 腺 炎		0.50	1.00	0.53	0.63	2.66

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 31名 (10月 0名)。全国では第34週以降に報告が増加しており、例年の同時期に比べてかなり多い。本県は出遅れたものの11月になってまとまった報告があった。広い年齢層で報告された。幡多を除く全域から報告があり、中央西、中央東、安芸が多かった。中央東では学級閉鎖も1校出ており動向が注目される。ウイルスは1件も検出されていない。全国の調査では、今のところ主な流行株はA香港 (AH3) である。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 97名 (10月 128名)。安芸と幡多を除く地域から報告され、高知市、中央東で多く報告された。10月につづいて同時期としては過去10年で最も多い報告数である。咽頭結膜熱の患者からのウイルス検出はなかったが、流行性角結膜炎と臨床診断された患者検体からAdenovirus 2が1件検出された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 146名 (10月 108名)。2014年10月以降多い報告数が続いていて、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月はほぼ平年並み、6月は再び増加した。7月以降減少に転じたものの9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月としては平年並みの数となった。県下全域から報告があり、特に高知市、中央西、須崎、中央東からの報告が多い。細菌は検出されていない。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 594名 (10月 420名)。県下全域から報告があり、中央東、須崎、中央西、高知市で多く報告された。病原体としてはNorovirus GⅡ、Sapovirusが各5件、Coxsackievirus A14が1件検出された。特に強い感染力をもつNorovirusの流行期に入ったと思われ注意が必要である。

ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数 (101名) が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1～2名と減少している。

### 5) 水痘

報告数 68名 (10月 39名)。安芸以外の地域から報告があり、高知市、中央西から報告が多い。11月の報告数としては過去10年で昨年に次ぐ少ない報告数であり、2015年からの水痘ワクチン定期化の効果と思われる。

### 6) 手足口病

報告数 17名 (10月 52名)。初夏に流行が始まる感染症で、例年通りの立ち上がりで、7月以降減少していたが、10月に再び増加に転じたが11月は減少した。安芸、幡多以外から報告があり、特に中央西からの報告が多い。病原体は検出されていない。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 23名 (10月 27名)。2015年以降、全国的に例年に比べて多い傾向で推移している。高知市、幡多、中央東から報告があり、表記の順に多かった。Parvovirus B19は検出されていない。軽症のことが多く、医療機関を訪れる機会も少なく流行状況の正確な把握が難しい側面がある。流行が続けば、成人の関節炎、貧血発作 (Aplastic crisis)、流産、胎児水腫といった合併症が増加する可能性があり、注意を要する。

### 8) 突発性発疹

報告数 37名 (10月 47名)。想定内の変動で推移している。

9) 百日咳

報告数 9名 (10月 9名)。報告があった9名のうち、重症化しやすい6か月未満の乳児が3名含まれている。須崎、幡多、高知市から表記の順に多く報告された。細菌は*Bordetella pertussis*のゲノムが3件検出された。高知県では百日咳の入院例に限定した全数調査が2016年から開始されている(厚生労働省班会議研究の拠点調査)。

10) ヘルパンギーナ

報告数 32名 (10月 29名)。例年6-7月から流行がみられるが、今季は、通常の流行の立ち上がり、規模ともに小さかったがだらだらと報告が続いている。高知市、中央西から多く報告された。ウイルスはCoxsackievirus A2が1件検出された。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 80名 (10月 99名)。全国的にも増加が報告され注目されている。高知県でも6月に倍増し、流行が危惧されたが、7月は半減し、例年の流行レベルとなった。安芸以外から報告があり、中央東、須崎、高知市で多い。ウイルスは検出されていない。

12) RSウイルス感染症

報告数 107名 (10月 183名)。この時期としては平年並みの数である。県下全域から報告され、須崎、高知市、中央西・安芸、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。RS virus Bが2件検出された。

13) 流行性角結膜炎

報告数 2名 (10月 0名)。ここ3年間は一桁で推移している。

14) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (10月 0名)。

15) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (10月 1名)。

16) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 34名 (10月 39名)。幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。同時期としては過去10年間で2012年に次いで2番目に多く報告された。同じ傾向が全国でみとめられ、各種メディアで報道された。多数の報告が続く幡多地域では、臨床的にマクロライド系薬剤耐性であり、抗菌薬選択に注意を要する。百日咳と区別が難しい患者から3件、細菌ゲノムが検出された。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 16名 (10月 23名)。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (10月 0名)。2014年は計4例、2015年は1例のみであった。2016年は1例報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成28年11月）

類型	病名	報告月											総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	9	117
3	腸管出血性大腸菌感染症						1	4	1	28			34
4	A型肝炎			1									1
	つつが虫病							1				2	3
	日本紅斑熱	1	1		2	1	2		2	1	1	2	13
	重症熱性血小板減少症候群	2		1	1				2	1			7
	レジオネラ症						2					1	3
5	アメーバ赤痢						1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		3	1	2		3	2		3	3	3	20
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2				1	1	2		9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1								3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1		1		1		14
	水痘(入院例に限る)					1							1
	破傷風					2				1			3
	梅毒		1	2	2		2	1	2	1			11
	急性脳炎			1									1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1		1				3
総計		19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	17	244

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

11月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	4	13	6	7	1		31		31
小児科	咽頭結膜熱		23	68	3	3		97	128	10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	17	104	9	6	8	146	108	228
	感染性胃腸炎	31	203	218	62	47	33	594	420	332
	水痘		12	39	9	2	6	68	39	57
	手足口病		2	10	4	1		17	52	18
	伝染性紅斑		2	16			5	23	27	23
	突発性発疹		12	14	2	4	5	37	47	50
	百日咳			4		3	2	9	9	8
	ヘルパンギーナ	1	2	23	3		3	32	29	6
	流行性耳下腺炎		46	21	4	4	5	80	99	46
	RSウイルス感染症	6	21	50	9	11	10	107	183	84
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2		
STD	性器クラミジア感染症			2				2		2
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ								1	
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎								1	
	マイコプラズマ肺炎		2	20			12	34	39	31
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2		8
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			2				2	1	15
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	2	9			1	16	23	14
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		48	357	610	112	82	90	1,299	1,206	963
前月		51	301	615	76	43	120			
前年同月		53	178	417	79	73	163			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2016年

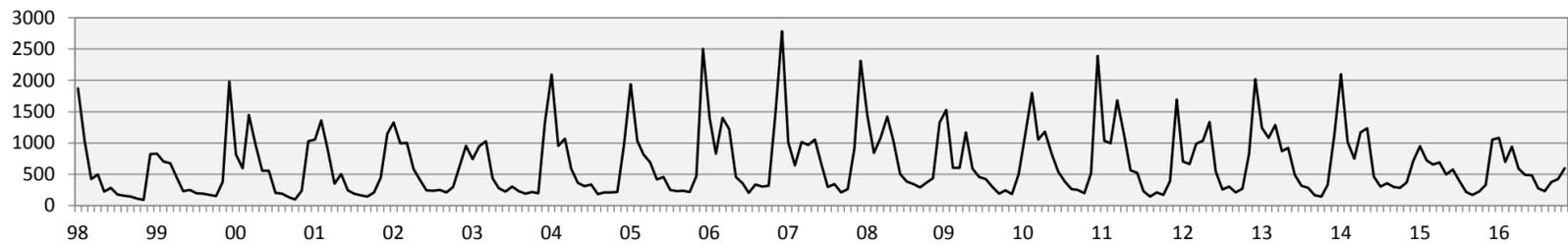
11月

定点当たりの人数

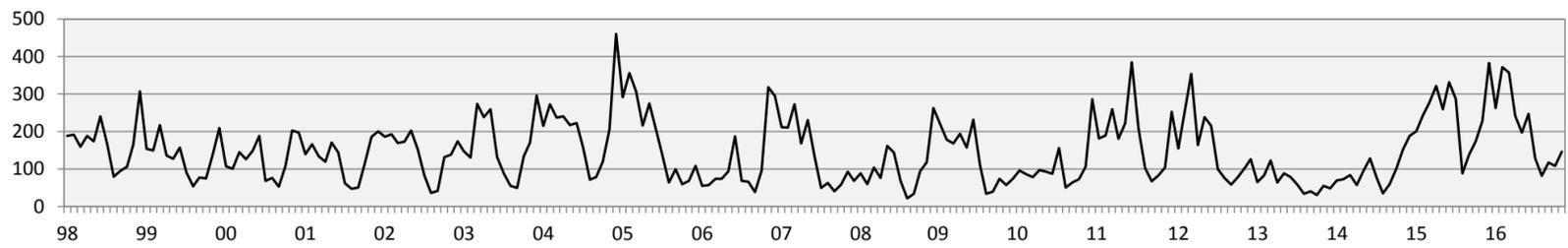
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	1.00	1.18	0.37	1.40	0.25			0.64		0.64
小児科	咽頭結膜熱		3.28	6.19	0.99	1.50			3.24	4.26	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.43	9.46	3.00	3.00	1.60		4.87	3.59	7.59
	感染性胃腸炎	15.50	29.00	19.82	20.67	23.50	6.60		19.80	13.99	11.06
	水痘		1.71	3.55	2.99	1.00	1.20		2.27	1.30	1.90
	手足口病		0.29	0.90	1.33	0.50			0.57	1.73	0.60
	伝染性紅斑		0.28	1.45			1.00		0.77	0.91	0.76
	突発性発疹		1.71	1.26	0.66	2.00	1.00		1.23	1.56	1.67
	百日咳			0.36			1.50	0.40	0.31	0.30	0.27
	ヘルパンギーナ	0.50	0.29	2.09	1.00		0.60		1.07	0.97	0.20
	流行性耳下腺炎		6.57	1.91	1.33	2.00	1.00		2.66	3.30	1.53
	RSウイルス感染症	3.00	2.99	4.54	3.00	5.50	2.00		3.56	6.10	2.80
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			2.00					0.66		
STD	性器クラミジア感染症			1.00					0.33		0.33
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ									0.17	
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎									0.13	
	マイコプラズマ肺炎		2.00	4.00			12.00		4.26	4.88	3.88
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40					0.26		1.01
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.40					0.25	0.13	1.88
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4.00	2.00	1.80			1.00		2.00	2.88	1.75
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		21.00	49.73	51.90	36.37	40.75	15.40		40.99	38.01	29.35
前月		24.50	42.15	52.35	25.33	21.50	20.40				
前年同月		26.00	24.80	33.03	24.99	35.75	29.20				

## 注目される疾患別月別推移

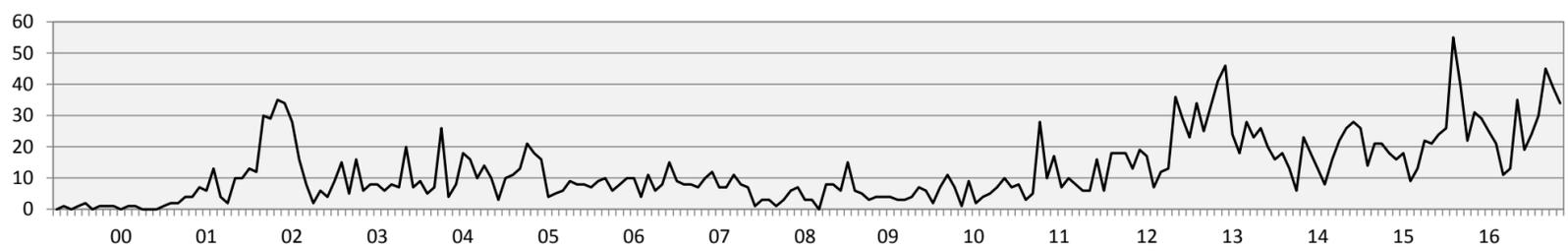
### 感染性胃腸炎



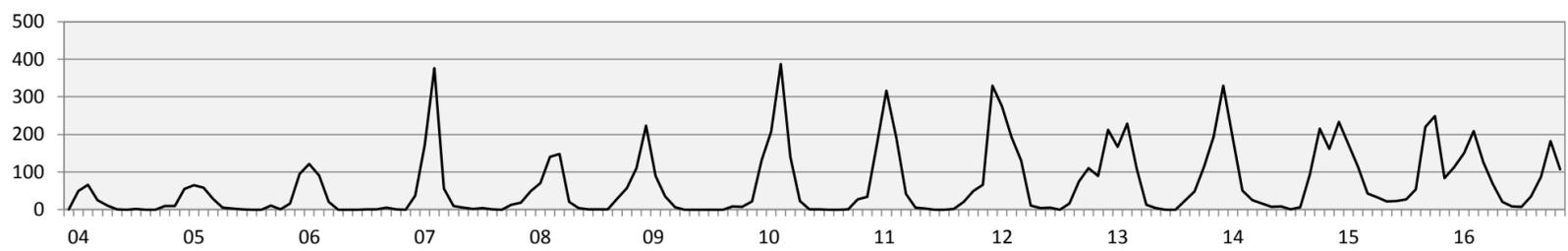
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



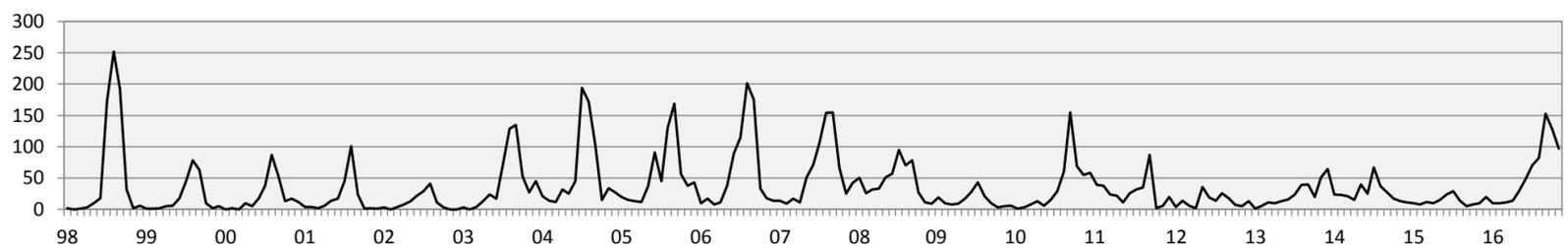
### マイコプラズマ肺炎



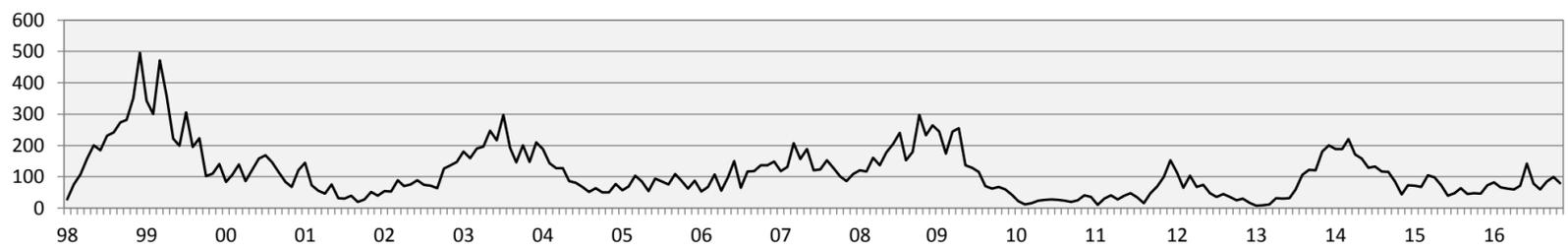
### RSウイルス感染症



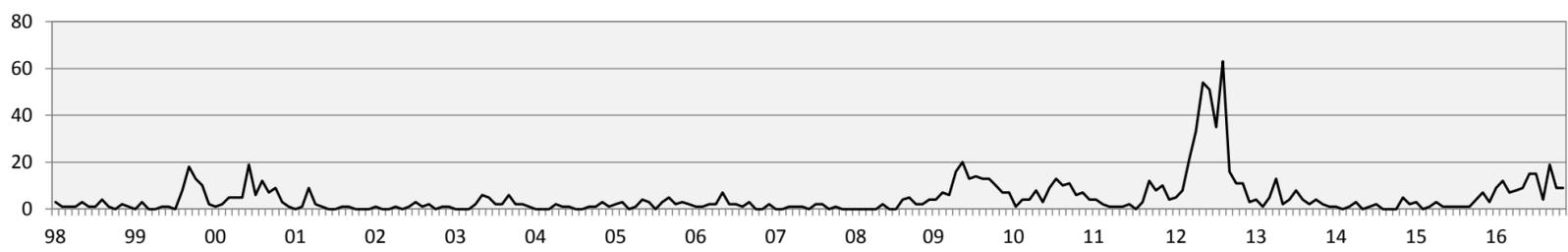
### 咽頭結膜熱



### 流行性耳下腺炎



### 百日咳



## 高知県感染症情報(月報)

平成 28年11月

## 検査情報

## ウイルス、細菌の分離状況

11月はウイルス 50件、細菌 29件の搬入があり、そのうちウイルス 23件、細菌 6件の病原体を検出し、また、平成28年10月に搬入された検体でウイルス4件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 3 1件、Coxsackievirus A2 1件、Coxsackievirus A5 1件、Coxsackievirus A14 2件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 1件、Norovirus GII NT 5件、Parechovirus 3 1件、Respiratory syncytial virus B 4件、Rhinovirus 1件、Sapovirus genogroup unknown 6件であった。また、細菌の内訳は、*Bordetella pertussis* 3件、*Mycoplasma pneumoniae* 3件であった。

## ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	4	男	-	40℃,	ぬぐい液	10/18	Adenovirus 3
2	1	男	咽頭結膜熱	39℃,下痢,	ぬぐい液	10/22	Adenovirus 1
3	3	男	手足口病	37℃,発疹,	ぬぐい液	10/24	Coxsackievirus A14
4	6	男	-	咳漱,	ぬぐい液	10/25	Rhinovirus
5	11ヶ月	男	ヘルパンギーナ	38℃,咳漱,	ぬぐい液	10/25	Coxsackievirus A5
6	12	男	百日咳	38℃,咳漱,	ぬぐい液	10/25	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
7	1	男	肺炎	40℃,咳漱,気管支炎,肺炎,	後鼻腔ぬぐい液	10/26	Respiratory syncytial virus B
8	5	女	ヘルパンギーナ	40℃,	ぬぐい液	10/29	Coxsackievirus A2
9	8	女	-	39℃,	ぬぐい液	10/31	Epstein-Barr virus
10	1ヶ月	男	RSウイルス感染症	咳漱,気管支炎,肝機能,	後鼻腔ぬぐい液	10/31	Respiratory syncytial virus B
11	3	男	百日咳	咳漱,	鼻腔	10/31	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
12	0ヶ月	男	インフルエンザ様疾患、RSウイルス感染症ただし抗原	咳漱,上気道炎,	うがい液	11/1	Respiratory syncytial virus B
13	1	女	流行性角結膜炎	39℃,	ふん便	11/1	Adenovirus 2
14	0ヶ月	男	伝染性紅斑	39℃,嘔吐,嘔気,	髄液、ふん便	11/2	Parechovirus 3
15	1	女	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/4	Norovirus GII NT
16	2	女	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/4	Norovirus GII NT Coxsackievirus A14
17	3ヶ月	女	百日咳	咳漱,	ぬぐい液	11/5	<i>Bordetella pertussis</i>
18	4	女	インフルエンザ様疾患	40℃,咳漱,上気道炎,	うがい液	11/7	Respiratory syncytial virus B
19	2	女	感染性胃腸炎	37℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/7	Sapovirus genogroup unknown
20	3	男	感染性胃腸炎	37℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/8	Norovirus GII NT
21	1	女	急性咽頭炎	40℃,上気道炎,中枢神経系障害,	ふん便	11/9	Sapovirus genogroup unknown
22	7	男	-	嘔吐,嘔気,腹痛,発疹,関節痛,肝機能,	ぬぐい液	11/13	Human herpes virus 7
23	1	女	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/14	Sapovirus genogroup unknown
24	2	女	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/14	Sapovirus genogroup unknown
25	11	男	百日咳	38℃,咳漱,	ぬぐい液	11/14	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
26	11ヶ月	男	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/15	Sapovirus genogroup unknown
27	8	女	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/15	Sapovirus genogroup unknown
28	1	男	-	発疹,	鼻汁	11/18	Human herpes virus 6
29	2	男	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/18	Norovirus GII NT
30	1	男	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	11/21	Norovirus GII NT
31	1ヶ月	女	百日咳	38℃,咳漱,	ぬぐい液	11/21	<i>Bordetella pertussis</i>
32	11	女	百日咳	37℃,咳漱,	ぬぐい液	11/21	<i>Bordetella pertussis</i>

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2016年											2016年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>											1		1
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>	1					1							2
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>	1					2							3
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>						1							1
	Epstein-Barr virus	1												1
	計	3				4						1		8
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	1												1
	Influenza virus A H1pdm09	7	45	10	2									64
	Influenza virus B /Victoria	2	3		1	1								7
	Influenza virus B Yamagata	1	12	8	9	1								31
	Coxsackievirus A4									1				1
	Echovirus 6							1						1
	Human herpes virus 6			1										1
	Human herpes virus 7								1					1
	Respiratory syncytial virus B								1					1
	計	11	60	19	12	2	3	1						108
咽頭結膜熱	Adenovirus 1											1		1
	Coxsackievirus A4							1						1
	Human herpes virus 6		1											1
	Human herpes virus 7		1											1
	計		2					1				1		4
感染性胃腸炎	Adenovirus 1													
	Adenovirus 2			3			2							5
	Adenovirus 4									1				1
	Adenovirus 41										1			1
	Adenovirus NT			1						1				2
	Coxsackievirus A9			1										1
	Coxsackievirus A14											1		1
	Echovirus 6							1	4					5
	Echovirus 30											1		1
	Epstein-Barr virus			1										1
	Human herpes virus 6							1						1
	Norovirus GII NT	8	1	1	3		1		2	1		5		22
	Parechovirus 3									1				1
	Rhinovirus				1					1				2
	Rotavirus group A G2			4										4
	Rotavirus group AG3	1												1
	Rotavirus group AG8	1												1
	Rotavirus group A NT		4	1										5
Sapovirus genogroup unknown			2	2	1							5	10	
<i>Salmonella Enteritidis</i>											1		1	
<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i>	1												1	
<i>Enterogastric Escherichia coli O126 : H27 aggR</i>				1									1	
	計	11	5	14	7	1	5	5	5	2	2	11	68	
ヘルパンギーナ	Adenovirus 41							1						1
	Coxsackievirus A2										1	1		2
	Coxsackievirus A4							1	1					2
	Coxsackievirus A5											1		1
	Coxsackievirus A10		2											2
	Human metapneumovirus								1					1
	計		2					3	1			2	1	9
手足口病	Adenovirus 3											1		1
	Coxsackievirus A6											1		1
	Coxsackievirus A14				1				2		1	1		5
	Cytomegalovirus								1					1
	Enterovirus NT						2	2	4					8
	Human herpes virus 6											1		1
	Human herpes virus 7											1		2
	Parechovirus 3											1		1
	Rhinovirus								3	1				4
	計				1	2	5	10		1	5		24	
流行性角結膜炎	Adenovirus 2												1	1
	計												1	1
伝染性紅斑	Human herpes virus 7										1			1
	human parvovirus B19 virus	1	1											2
	Parechovirus 3											1		1
	Respiratory syncytial virus A		1											1
	計	1	2								1		1	5

臨床診断名	病原微生物	2016年											2016年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>		1											1
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	5	4	4	5	8	3	4	10	6	3	54	
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1				1	1	1	1		3	8	
	計	2	7	4	4	5	9	4	5	11	6	6	63	
流行性耳下腺炎	Mumps virus					1					1		2	
	計					1					1		2	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B3										1		1	
	Cytomegalovirus									1			1	
	Echovirus 6						2	3	1				6	
	Echovirus 30									1			1	
	Human herpes virus 7	1							1				2	
	Mumps virus								2				2	
	Parechovirus 3								1				1	
	Parainfluenza virus 3									1			1	
	Rhinovirus													
	Respiratory syncytial virus A													
計	1					2	6	3	2	1		15		
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1		1				1				3	
	計		1		1				1				3	
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A									1			1	
	Respiratory syncytial virus B											2	2	
	計									1		2	3	
水痘	計													
突発性発疹	Coxsackievirus A4					1							1	
	Cytomegalovirus								1				1	
	Human herpes virus 6					2				1			3	
	計					3			1	1			5	
その他	Adenovirus 2	1											1	
	Adenovirus 3											1	1	
	Adenovirus 41									1			1	
	<i>Bordetella pertussis</i>				1								1	
	Coxsackievirus A4								2				2	
	Coxsackievirus A14	1											1	
	Coxsackievirus A16													
	Cytomegalo virus	4		4	1			1	1		1		12	
	Echovirus 6						3	1	1				5	
	Echovirus 18				1								1	
	Enterovirus NT					1	2						3	
	Epstein-Barr virus	3					2					1	6	
	Herpes simplex virus 1	1											1	
	Human herpes virus 6	2	4		1		2			2	2	1	14	
	Human herpes virus 7	3	1	2	1	1		1		1		1	11	
	Human metapneumovirus					2	1		7		2		12	
	human parvovirus B19							1					1	
	Mumps virus									1			1	
	Norovirus GII NT										1		1	
	Parainfluenza virus 1						1						1	
	Parainfluenza virus 3					1	2		2	1			6	
Respiratory syncytial virus A	2	4						1				7		
Respiratory syncytial virus B	1		2								2	5		
Rhinovirus	2	1	3	2	3	1	1				1	14		
Rotavirus group A G2			1									1		
Sapovirus genogroup unknown											1	1		
計	20	10	12	7	8	14	8	11	6	7	7	110		
総計	49	89	49	32	26	42	35	26	25	26	29	428		

類型	病名	報告年																											総計
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28										
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	131	117	1437									
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	131	117	1437									
3	コレラ	1					1						1							3									
	パラチフス	2																		2									
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											25									
	腸チフス		1						1									1		3									
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	191									
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	224									
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3						3	32									
	Q熱	1	1	2				1											1	5									
	オウム病			1		1														2									
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3		3	73									
	マラリア									2				1						3									
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	51									
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	143									
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1							6									
	レプトスピラ症										1			4	2	1				8									
	E型肝炎												1		1					2									
	デング熱												1			3	2	1		7									
	重症熱性血小板減少症候群															3	11	3	7	24									
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	27	356									
	5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	3			7	3	1	35								
ウイルス性肝炎		11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3			1		54									
カルバペネム耐性腸内細菌感染症																	7	19	20	46									
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	4		4	3	3		6		1	3			2				28									
ジアルジア症			1	2	1									1	1					7									
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1							1								1	3									
急性脳炎									1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	17									
劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1				1		1	1	3		1		3		13									
後天性免疫不全症候群		2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	59									
侵襲性インフルエンザ菌感染症																	1	5	3	9									
侵襲性肺炎球菌感染症													1	4	12	14				31									
水痘(入院例に限る)																	2	1		3									
髄膜炎菌性髄膜炎										1										1									
破傷風			3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	29									
梅毒		2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	12	11	134									
麻しん											5									5									
風しん										1	1			4	9	1			16										
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	64	66	490										
新型	新型インフルエンザ																			34									
	計																			34									
動物	鳥インフルエンザ													1						1									
	計													1						1									
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	213	244	2542									

類型	病名	報告月											総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2	結核	9	7	13	10	7	13	10	18	12	9	9	117
3	腸管出血性大腸菌感染症						1	4	1	28			34
4	A型肝炎			1									1
	つつが虫病							1					2
	日本紅斑熱	1	1		2	1	2		2	1	1	2	13
	重症熱性血小板減少症候群	2		1	1				2	1			7
	レジオネラ症						2						1
5	アメーバ赤痢						1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		3	1	2		3	2		3	3	3	20
	後天性免疫不全症候群	1	1	1	2				1	1	2		9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1								3
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	2	1	1		1		1		14
	水痘(入院例に限る)					1							1
	破傷風					2					1		3
	梅毒		1	2	2		2	1	2	1			11
	急性脳炎				1								1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1								3
計	19	14	24	22	12	26	18	28	48	16	17	244	